

令和7年

8月1日

＜近畿大学リエゾンセンター設立25周年＞

令和7年度

近畿大学研究シーズ発表会 -東京開催-

近畿大学ACADEMIC THEATER(東大阪キャンパス)

日時

令和7年8月1日(金)
14:00~17:20

場所

大田区産業プラザPiO
コンベンションホール
東京都大田区南蒲田1-20-20
京急蒲田駅東口から徒歩3分
【会場へは公共交通機関をご利用ください】

定員

80名
(定員になり次第、締切とさせていただきます。)

参加費

無料

交流会参加費

無料(近大マグロ等の近大卒の養殖魚のお造りと
お飲み物を提供予定)

主催

近畿大学、近畿大学リエゾンセンター(2025年2月に設立25周年を迎えました。)

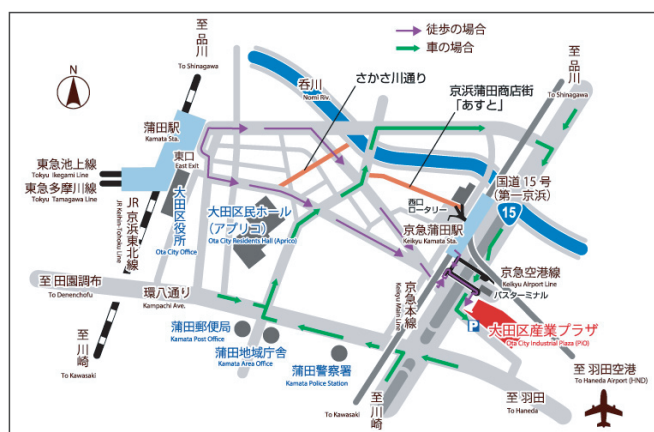
後援

公益財団法人 大田区産業振興協会

協力

芝信用金庫、一般社団法人コラボ産学官

＜アクセスマップ＞



皆様のご参加を心よりお待ちしております。



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

スケジュール

- 13:30 受付開始
- 14:00 開会挨拶
- 14:10 リエゾンセンター紹介
- 14:20 発表1
- 14:50 発表2
- 15:20 休憩
- 15:30 発表3
- 16:00 コーディネーター挨拶
- 16:10 閉会挨拶

交流会

- 16:20 開催挨拶
協力機関挨拶
- 17:15 中締め
- 17:20 終了

発表1 「次世代ソリッド・バイオフィューエルの研究開発」



バイオコックス研究所 教授 / 所長 井田 民男
SDGs7 を達成するには、英知の結集なくしては、達成できない。また国家基盤である鉄を製造することは国の骨子となる。鉄を溶解するソリッド・バイオフィューエルの研究開発は人類の存続の骨子を造る中核となる。

発表2 「サービスデザインを用いた産学連携の試行」



経営学部 教授 布施 匡章
サービスデザインとは、消費者の体験を最大化するようにサービス提供側の活動をデザインすることである。人を動かす見えないスイッチがどこにあるか、これまでの取組みと試行錯誤を学生とともに発表する。

発表3 「商品化をゴールとする薬学部の産学連携」



薬学部 教授 多賀 淳
薬学部の研究テーマとして、治療法や診断法の開発は大きな目標であるが、最近では、それらを含め人々の生活の質 (quality of life, QOL) を向上させる広範囲な研究が医療系学部に求められるようになってきた。ここでは、化粧品や食品に関する産学連携例を紹介する。

お問合せ先 近畿大学リエゾンセンター TEL: (06) 4307-3099
E-mail: klc@kindai.ac.jp

申込方法

Web申込み(申込期限: 令和7年7月25日(金) 17:00)
参加申込みフォームからお申込み下さい。
<https://www.kindai.ac.jp/liaison/special/form/20250801seeds/>
定員(80名)になり次第、締切とさせていただきます。

お申込みサイト



※2次元バーコード、Webからのお申込みが困難な場合はこちらのFAX参加申込書でお申込みください。(※全項目ご記入ください。)

近畿大学研究シーズ発表会 FAX 参加申込書

事業所名	所在地 〒		
役職	参加者名		
電話	E-mail【必須】		
交流会【必須】	※7月25日以降のキャンセルはできません。 ☐ 参加する ☐ 参加しない		

お申込みいただいた皆様の個人情報は本研究シーズ発表会のご連絡のみに使用し、他の目的に使用することはありません。
(来年度以降の近畿大学研究シーズ発表会のご案内をさせていただく場合を除きます。)

送信先: FAX (06) 6721-2356